



花虎/尾(ハナトラ/オ) 花言葉：望みの成就、達成

ツルの学習会とモミまきの実施

「四万十つるの里づくりの会」が、次世代のツルの守り手の育成を目指して平成18年度から毎年実施している学習会が、今年も東中筋中学校の1年生と東中筋小学校の6年生を対象に、7月2日(水)に開催されました。はじめに中学校で、昨年度初めてマナヅルのつがい(親鳥と雛)が飛来して越冬した様子と、保護活動について鳥類の専門家である澤田佳長先生から講義を受けました。その後中山箇所(中村河川国道事務所)の湿地に移動し、中村河川国道事務所から「ツルの里づくり事業」の経緯や湿地の特色などの説明を受けた後、地元で魚類の研究をしている東健作さんから、ツルが雑食性であることや絶滅が危惧されているメダカもいる豊かな環境が創出されていることを学びました。最後に、実りの秋にツルの餌となることを願い、一斉に畦から湿地の中にモミを撒きました。子どもたちは、「昨年より一羽でも多くツルが来て、越冬してくれると嬉しい」とインタビューに答えていました。



モミ撒き



ツルに関する講義

「親子水難事故防止教室」開催

7月27日(日)、四万十市赤鉄橋の河原で、小学生とその保護者や関係者など総勢約80名が参加し「親子水難事故防止教室」が開催されました。この教室は、平成22年から開催しており今年で5年目となります。当日は渡川水系(四万十川)水難事故防止連絡会と「四万十川水中探偵団」(四万十川流域住民ネットワーク)が連携し、川で遊ぶ楽しさを体験しながら、水難事故から身を守る方法について親子で学習しました。小学生は、水中宝さがしや箱メガネによる水中調査、カヌー体験、服を着たまま泳ぐ着衣遊泳を体験し、中でもカナナイアン・カヌーを使っの「組み立て式飛び込み台」からの飛び込みは大人気で大きな歓声が上がっていました。大人向けには消防署によるAED講習会や、警察署による発射銃及びロープによる救助デモの披露が行われました。天候にも恵まれ、メニューが盛りだくさんの教室で、子どもたちは川で遊ぶ楽しさと身を守る術を学ぶことができました。



組み立て式飛び込み



AED講習会



警察官による救助デモ

一日河川出張所長体験の実施

7月28日、30日に河川愛護月間(7月)の関連行事として、土木技術者を目指す高校生に、四万十川等を管理する国土交通省の仕事の体験をとおし、土木の魅力を実感してもらう「一日河川出張所長体験」を実施しました。当日は、幡多農業高等学校と、宿毛工業高等学校の生徒各2名がそれぞれ後川出張所と四万十川出張所で体験しました。当日は、出張所長の仕事について説明を受け、川での船上巡視や河川パトロールを体験しました。また現場では樋門の点検や、堤防の工事現場での測定の体験をしました。参加した生徒からは、「参加できてとても良かった。国土交通省の仕事の大変さと魅力がわかった。」「大雨の時に調査や呼びかけをしてくれ、自分たちの町を守ってくれているお仕事にとっても関心がわきました。」と感想を頂きました。



四万十川での船上巡視体験



パトロールカーでの河川巡視体験

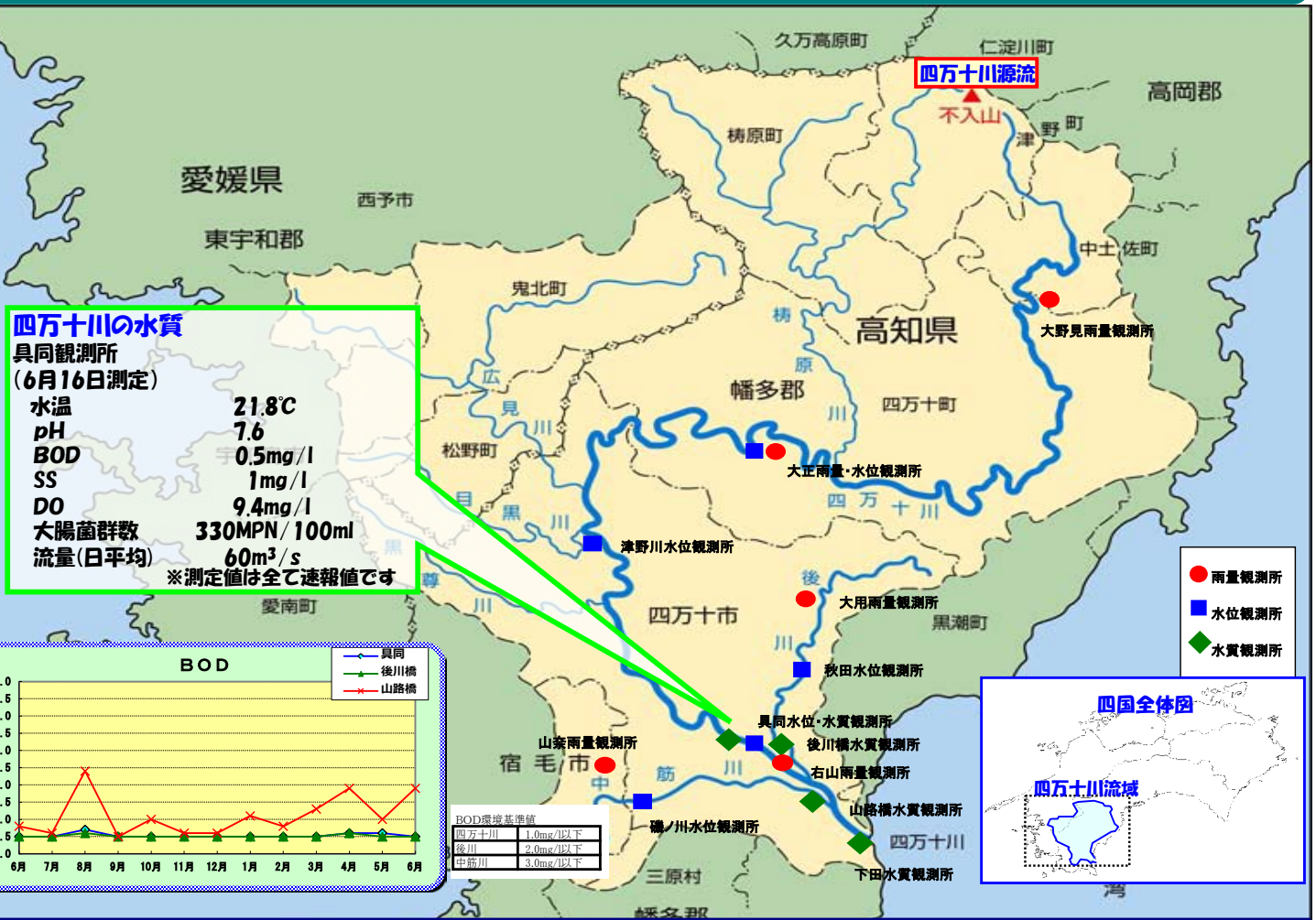
四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

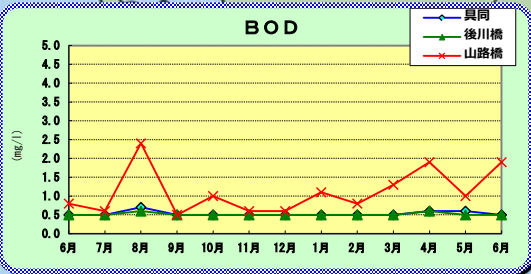
6月の四万十川の様子



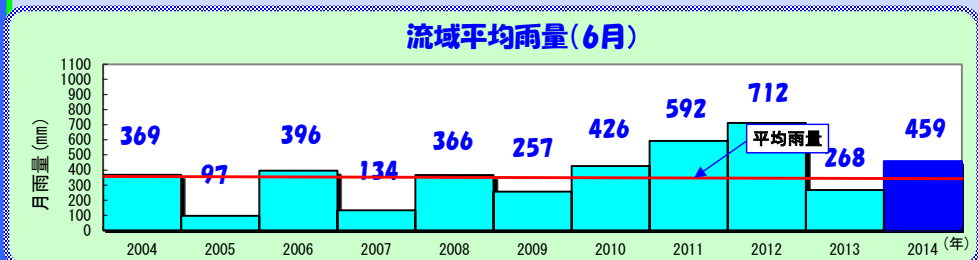
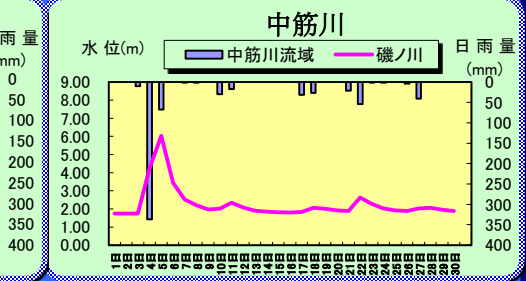
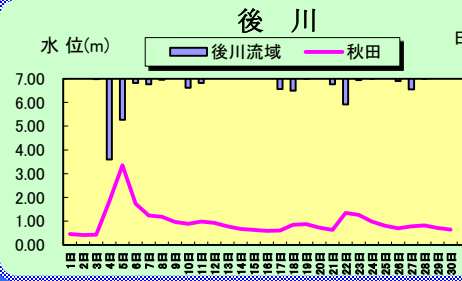
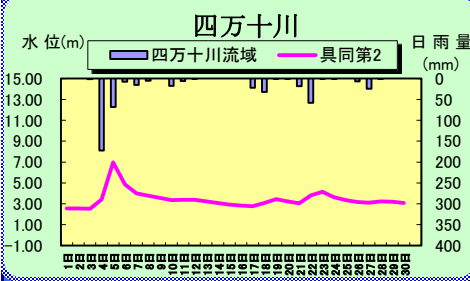
四万十川の水質
具同観測所
(6月16日測定)

水温	21.8℃
pH	7.6
BOD	0.5mg/l
SS	1mg/l
DO	9.4mg/l
大腸菌群数	330MPN/100ml
流量(日平均)	60m ³ /s

※測定値は全て速報値です



雨量・水位データ



6月の四万十川流域平均雨量459mmは半年の約1.3倍程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は362mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について
 四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

川の防災情報 提供 国土交通省河川局